



北海道大学 (北海道)



日本語・日本文化に関する研究・調査活動に役立つ日本語能力の伸長と、研究に必要な基礎知識、方法論・技能等の修得・運用を通じた日本語・日本文化(特に、日本語学・日本語教育学分野の)理解を目的とするコースであり、1年間のプログラムの中で受講生の日本語能力の向上を図り、また、後半においては指導教員が受講生の専攻分野に応じて、研究レポート作成及び研究発表遂行を目標とした個別の研究指導を行うことを特色とする。

◇大学紹介

北海道大学は、我が国における最初の高等農事教育機関として1876年に開設された札幌農学校に始まります。開設当時、札幌農学校は米国マサチューセッツ農科大学長であるウィリアム・S・クラーク博士を迎え、豊かな教養と高度の知識・技術を教授されました。クラーク博士の“Boys, be ambitious”の言葉に代表されるフロンティア・スピリットは、開学以来130年余にわたって本学の建学精神として受け継がれています。1919年、医学部が設置されると同時に、従来の農科大学は農学部となり、その後、工学部、理学部等が設置され、理科系の総合大学へと発展しました。1947年、文科系の学部が設置され、初めて現在の「北海道大学」という名称が誕生、2年後の1949年には、新制の北海道大学が発足し、7学部1教養学科が設置されました。1953年には新制の大学院が設置され、現在、12学部、16の大学院及び26の研究所・センター等を有する我が国有数の総合大学です。

学部名：文学部・教育学部・法学部・経済学部・理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部・獣医学部・水産学部

教員数：2,050名

学生数：学部学生 11,833名、大学院学生 6,389名、計 18,222名

国際交流の実績(平成20年5月1日現在)

留学生数：864名(82カ国)

日本語・日本文化研修生受入実績：2008年 12名

◇ コースの概要

○受入定員 20名

○コース期間

2009(平成21)年10月1日～2010(平成22)年9月30日
(冬季休業、春季休業、夏季休業及び自主研修期間を含む)

○授業科目の概要

内容は、日本語を学習する選択必修科目群、日本語・日本文化に関する講義を行う選択科目群、研究レポート作成を含む研究指導である必修科目の三つの科目区分より構成される。

(1) 授業科目名、区分及び時間数

a. 必修科目及び選択必修科目

授業科目区分	授業科目名	時間数(第1期)	時間数(第2期)
必修科目	研究指導		30
選択必修科目	A 中級文法	30	30
	上級文法	30	30
	B 中級漢字語彙	60	60
	上級漢字語彙	30	30
	C 中級読解	30	30
	上級読解	30	30
	D 中級文章表現	30	30
	上級文章表現	30	30
	E 中級口頭表現	60	60
	上級口頭表現	60	60

b. 選択科目

授業科目区分	授業科目名	時間数(第1期)	時間数(第2期)
選択科目	日本語学概論	30	
	日本語の発音	30	
	日本語の文法	30	
	日本語の語彙		30
	日本語の表記		30
	日本語の歴史		30
	日本語研究	(不定)	(不定)
	比較文化論	30	
	日本の歴史・地理		30
	日本の政治・経済		30
	日本の文学・芸術		30
	日本の社会・文化		30
	日本文化研究	(不定)	(不定)
	特別講義	60以内	

備考

- 第1期は10月から3月まで、第2期は4月から9月までとする。
- 必修科目は全員が履修するものとする。
- 選択必修科目の履修方法については、次のとおりとする。
第1期及び第2期を通して、300時間以上を履修すること。
ただし、第1期においてはA～E欄に掲げる授業科目のうちから各欄毎に1科目を履修すること。
- 第1期及び第2期を通して、必須科目、選択必須科目及び選択科目を合わせて540時間以上修得すること。
- 選択科目のうち別に定めるものについては、全学教育科目又は各学部で開講される専門科目の履修をもって、当該選択科目の履修に代えることができる。
- 留学生センター長は、教育上有益と認めるときは、前号の規定により履修する授業科目のほかに、全学教育科目又は各学部において開講される専門科目若しくは国際交流科目の履修を許可することがある。
- 前号の規定により履修した授業科目は、選択科目の特別講義の所定の時間数を履修したものとみなす。ただし、その時間数は、60時間を超えないものとする。
- 第5号及び第6号の履修に当たっては、全学教育科目にあつては高等教育機能開発総合センター全学教育部長、専門科目にあつては当該授業科目開講する学部長の許可を受けるものとする。

(2) 授業内容

a. 必修科目「研究指導」:

第2期のみ開講される。受講生の専攻分野・研究課題に応じて指導教員より個別に指導・助言を受けることを通して、研究のための方法・技能等を習得させ、研究レポート作成が遂行できるよう支援する。

b. 選択必修科目:

・「中級/上級文法」

既習の文型や表現を整理し、日常会話や文章表現に必要な文法項目を習得する。

・「中級/上級漢字・語彙」

読み物などを通じて漢字習得・語彙力を伸ばす。

・「中級／上級読解」

新聞・雑誌・単行本などの生教材を通じて読解力を伸ばす。

・「中級／上級文章表現」

適切な文型や表現を習得し、手紙・メール・レポートなどの文章を書く力を身につける。

・「中級／上級口頭表現」

大学内外の様々な場面で必要な口頭表現能力を身につける。

(3)コース及びクラスの形態

a. コース形態

北海道大学留学生センター内に設置されたコースであり、受講生は入学後1年間を通してこのコースで指導を受ける。

b. クラスの形態

選択必修科目のみ、入学後に実施するプレースメントテストにより、日本語能力別に中級レベル及び上級レベルのクラスを受講する。

○指導体制

(1)専任教員

氏名	配属	職名	専攻
山下好孝	留学生センター	教授	日本語額・スペイン語学
柳町智治	留学生センター	教授	日本語教育・第二言語学習論
中村重穂	留学生センター	准教授	日本語教育・意味論
小林由子	留学生センター	准教授	日本語教育・認知科学
小河原義朗	留学生センター	准教授	日本語教育

(2)個別指導

a. 学業面

第1期(2009年10月～2010年3月)はコース・コーディネーターが必要に応じて個別指導を行い、第2期(2010年4月～2010年9月)は各学生の指導教員が毎週1回「研究指導」の時間において個別指導を行う。

b. 生活面

1年間を通して、留学生センター指導部の専任教員2名が必要に応じて相談業務に当たる。

○コースの修了要件、修了証書の発行

第1期・第2期を通じて、必修科目、選択必修科目及び選択科目を合わせて540時間以上を修得することを修了要件とし、この要件を満たした者には修了証書を授与する。

○受講希望者の資格、条件等

受入の資格・条件としては、以下の全ての要件を満たすこととする。

a. 身分及び専攻

外国(日本国以外)の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する専攻課程を主専攻として履修している者。(ただし、1年生を除く)

b. 日本語能力

日本語能力が、日本国際教育協会が実施する「日本語能力試験」3級以上またはこれと同等の日本語能力を有する者。

c. 学業成績

大学における学習成績が上位の者。

○単位認定、単位互換等

原則として、正規の単位は与えられない。ただし、各期末に学生に対して成績表を交付し、また、出身国における学生の在籍大学より照会があった場合には、授業内容及び成績に関する資料の提出に応じる。

◇宿舎

北海道大学には、恵迪寮(单身男子)、霜星寮(单身女子)、桑園国際交流会館(单身、夫婦、家族)、南新川国際交流会館(单身)の宿舎があります。

◇問い合わせ先

大学所在地：

〒060-0808 札幌市北区北8条西8丁目

担当部署：

北海道大学学術国際部国際企画課留学生交流室

TEL：

+81-11-706-2109

FAX：

+81-11-706-4874

E-MAIL：

ryugaku@academic.hokudai.ac.jp

大学のホームページ：

<http://www.hokudai.ac.jp/>

担当教員：

山下好孝